

第52回神奈川建築コンクール一般建築物部門最優秀賞の受賞について

1 横須賀美術館について

横須賀美術館は、日本初のQBS方式（建築家の資質や実績により選考）により選ばれた山本理顕氏により設計され、平成16年度に着工、平成18年度に竣工し、本年4月28日に開館を迎えました。

開館から約5ヶ月で当初目標の観覧者10万人を達成し、横須賀の新たな文化、集客拠点としての役割を果たしております。

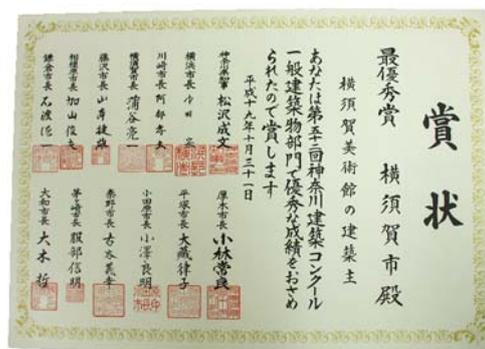
2 今回受賞の経緯等について

神奈川建築コンクールは、神奈川県内の建築物の質の向上と健全な都市の発展に寄与することを目的として昭和31年から行われている伝統のあるコンクールです。

今回、一般建築部門の応募49件の中から横須賀美術館が最優秀賞に選ばれました。

受賞理由は、ガラスの外皮と美術品の保護のための鉄板の内皮というダブルスキンで覆い、かつ収蔵庫と展示室を中心部に配置して美術館としての環境機能性を担保しながら、アートに出会うためのさまざまな仕掛けを施した開放的な立体回遊空間を構成した構想をご評価いただいたものです。

10月31日（水）、神奈川県庁において表彰式が行われ、建築主である横須賀市、設計者である（株）山本理顕設計工場、施工者である鹿島建設（株）横浜支店の3者が表彰されました。



(参考) 神奈川建築コンクールホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kentikusido/hyosyo/index.html>